

遠隔授業受講の手引き vol.1

呉竹学園 遠隔授業実行委員会

東京医療専門学校（東京校）
呉竹鍼灸柔整専門学校（横浜校）
呉竹医療専門学校（大宮校）

6月以降の授業について

4月・5月は自宅で課題に取り組んでいただいておりますが、6月以降は、以下の授業形態を予定しております。

自宅における

遠隔授業の受講

※通信環境のない方は、
学校にて受講できます



学校における

座学授業の受講

※分散登校・短縮授業
(密度、換気、消毒に配慮し
ます)

※ 所在地都県の臨時休業の要請発令状況により授業形態が変更されることがあります。

遠隔授業とは？

文部科学省が認めている遠隔授業の形態

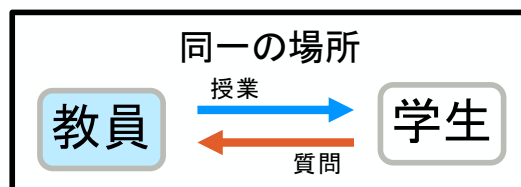


①オンライン型（同時双方向型：下図b.）

定められた授業時間にのみ授業内容が配信され、その時間に同時に受講する形式。

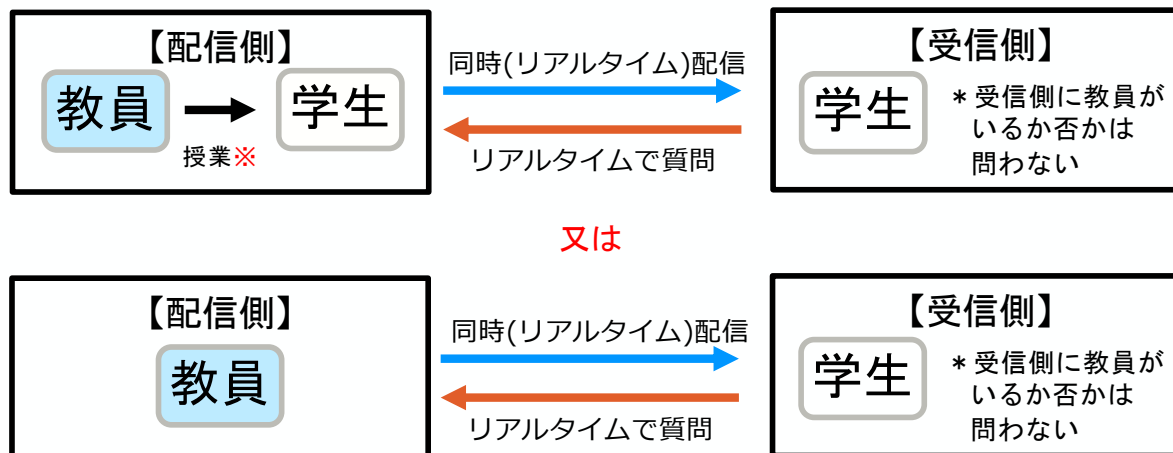
LINEビデオ通話やFaceTimeのように双方向で会話ができる仕組みと似ていますが、Zoom、Skype、Google Meetなどのオンライン会議システムを利用した遠隔授業です。

a.対面授業



※同一の場所で授業を行い、設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導と、学生の意見の交換の機会が行われている。

b.オンライン型遠隔授業



遠隔授業とは？

文部科学省が認めている遠隔授業の形態

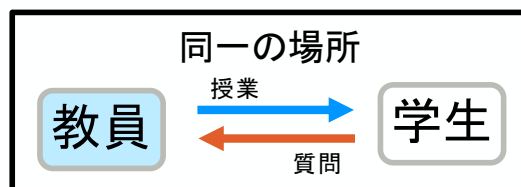


② オンデマンド型（異時配信型：下図c.）

定められた授業時間迄に保存された授業内容が配信され、それを自分の都合のよい時間に受講する形式。

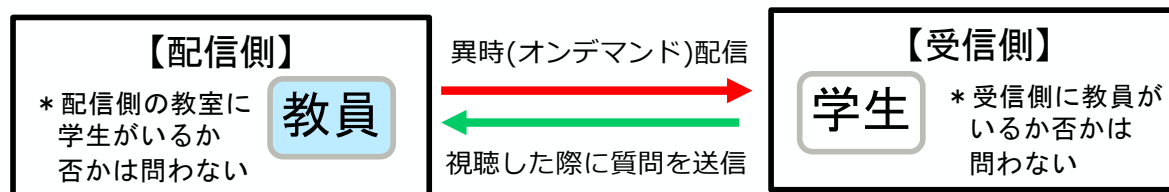
通信制大学や企業の研修などのe-Learningに用いられているシステムが代表的で、インターネットにつがっている時のみ視聴できるYouTubeのようなストリーミング配信による遠隔授業です。

a. 対面授業



※同一の場所で授業を行い、設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導と、学生の意見の交換の機会が行われている。

c. オンデマンド型遠隔授業



→ 本学園でまず導入するのは“**② オンデマンド型**”

遠隔授業とは？

オンデマンド型授業の構成

- ・「講義動画＋課題」方式で配信します。
- ・1つの講義の「講義動画」は、いくつかのセクション(3つ程度)に分かれております。
- ・セクションごとに、それを視聴することで解答できる「課題」が設定されております。
- ・「課題」は、四者択一・○×・語群から選択するなど正解が絞れる小テスト形式やレポート提出など、担当者によって形式は異なりますので、「講義動画」内の指示に従って解答してください。
- ・「課題」の提出をもって“**出席**”といたします。
- ・各科目の**成績**は、「課題」の点数も含めて評価いたします。

準備するもの ※ 以下の内容のご準備をお願いいたします

① 情報端末 (p7~10)



パソコン
(Windows・Mac・Chromebook) タブレット
スマートフォン

② インターネット環境 (p11)



③ ウェブブラウザ・アプリケーション (p12~13)



ウェブブラウザ



Classroom関連アプリ
(タブレット・スマホ・Chromebookのみ)

準備するもの① 情報端末を準備するにあたっての注意事項

■これから端末の購入を考えている方

→ 遠隔授業では、レポートの作成を求める課題もありますので、**パソコン** または **タブレット**（9インチ以上・キーボードを別途購入）を推奨します。

◆ノートPC

- ・持ち運んで色々な場所で使うことができますが、デスクトップPCに比べて高価です。
- ・有線LANを接続できない機種もあります。ご自宅のLAN環境にあったものを選んでください。



画面サイズの目安：持ち運ばないなら 15インチ以上
持ち運ぶなら 14.1～11インチ

準備するもの① 情報端末を準備するにあたっての注意事項

■これから端末の購入を考えている方

→ 遠隔授業では、レポートの作成を求める課題もありますので、**パソコン** または **タブレット（9インチ以上・キーボードを別途購入）** を推奨します。

◆デスクトップPC

- ・比較的安価で、画面の広いもの(別途購入が必要な場合もあります)を選べば快適に利用できます。

Windows対応機種の場合、Wi-Fi(無線LAN)に対応していない機種もありますので、ご自宅のLAN環境にあったものを選んでください。

今後の活用も視野に入れて、Webカメラ(マイク付)を別途購入しておくことをお勧めいたします。

◆タブレット

- ・上記の通り、文書作成の際には別売キーボードを用いた方が入力しやすいです。

画面サイズの目安：9インチ以上 ストレージ容量：32GB以上（64GB以上を推奨）

RAM(メモリ)容量：2GB以上（3GB以上を推奨）

準備するもの① 情報端末を準備するにあたっての注意事項

■これから端末の購入を考えている方

◇パソコン購入のための必要条件

- CPU : intel core i3 以上 または Pentium4600G 以上
AMD Ryzen3 以上 または Athlon 300U 以上
- メモリ : 4 GB以上 (8 GB以上を推奨)
- ストレージ容量 : HDDなら 500GB以上、SSDなら 256GB以上
- OS : Windows 10 (Homeで十分です)
macOS 10.15 Catalina (10.14 Mojave搭載機種でもOK)
Chromebookは現在販売している機種であればOK

※ 余裕があれば、よりスペックの高いもの (CPUやメモリ、ストレージ容量) を選べば、長く快適に使うことができます。

中古品を購入される場合も上記スペックと次ページをご参照ください。

準備するもの① 情報端末を準備するにあたっての注意事項

■ 既に端末を持っている方

以下の点に注意してください。

- ・ **OSは**、セキュリティの面からも**最新のものにアップデート**しておいてください。
- ・ サポートが終了したOSのPCは、セキュリティ上できるだけ使用しないでください。

Windows ○ : Windows10、8.1

× : Windows7、8、左記以前のもの

Mac ○ : macOS 10.15 Catalina、macOS 10.14 Mojave

△ : macOS 10.13 High Sierra

× : macOS 10.12 Sierra以前

ChromeOS ○ : 80.0.3987.162 (5/11現在の最新バージョン)

※ ChromeOSを使用するChromebookは最新versionへのUpdateを自動で行います。

準備するもの② インターネット環境

遠隔授業の受講には大量のデータ(パケット)通信が必要です。ご自宅でインターネットが接続できるような環境を整えてください。

- ・ 光回線などの[固定回線](#)や[室内Wi-Fi \(無線LAN\)](#) の環境を推奨します。
 - ・ 特にスマートフォン・タブレットのモバイル通信(LTEなど)では、通信利用料金が高額になったり、通信速度制限がかかる場合（例えば3日で上限10GB）がありますので、Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。もしくは、あらかじめ[通信量の上限が25GB以上](#)となる設定をお願いいたします。
- * 感染症対策・セキュリティ・著作権保護の観点から、無料Wi-Fiを提供するカフェなどにおける遠隔授業の受講はお控えください。

準備するもの③ ウェブブラウザ

本学園で遠隔授業の導入に際して検討しているのは「Google Classroom」という学修支援システムです。

具体的な利用手順は、「遠隔授業受講の手引きvol.2」で説明されますが、このシステムを利用するにあたって、下記または次ページの準備をお願いいたします。

- パソコン Chrome、Firefox、Microsoft Edge、Safari などパソコンで任意のブラウザを使用してウェブ上のClassroomにアクセスできます。事前にダウンロードしておいてください。

※ 親和性が高いのは **Google Chrome**



Chrome



Firefox



Microsoft
Edge



Safari



Opera



Sleipnir

etc.

※ ChromebookにはデフォルトでGoogle Chromeがバンドルされております。

準備するもの③ アプリケーション

■ タブレット・スマートフォン・Chromebook

下記のアプリをダウンロードしておいてください。



Gmail



クラスルーム



ドライブ



チャット



iPhone



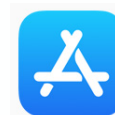
Android



iPhone



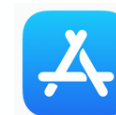
Android



iPhone



Android



iPhone



Android